

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：機械

講習会コード：tds20250620r1

「性能品質」や「魅力的品質」の重要性が高まっていますが、そのためには、“できるだけ短い時間で効率よく「当たり前品質」を確保し、「性能品質」や「魅力的品質」を生み出す余力を作る”ことが重要です。本講では、設計品質（当たり前品質）を確保して、品質トラブルを減らすための基礎知識や実務でのポイントを解説します。

生成 AI の活用も紹介！

設計部門に浸透させたい設計品質の基礎知識

講師：田口技術士事務所 代表 技術士（機械部門） 博士（情報工学） 田口宏之 氏

九州大学大学院修士課程修了後、東陶機器株式会社（現、TOTO株式会社）に入社。12年間の在職中、ユニットバス、洗面化粧台、電気温水器等の水回り製品の設計・開発業務に従事。金属、プラスチック、ゴム、木質材料など様々な材料を使った製品設計を経験。また、商品企画から3DCAD、CAE、製品評価、設計部門改革に至るまで、設計業務に関するあらゆることを自らの手を動かして実践。それらの経験をベースとした講演、コンサルティングには定評がある。

●日程 2025年6月20日（金）10:00～17:00

●受講料 33,000円（税込）※3/14（金）までにお申込の場合、26,400円（2割引）となります

<プログラム>

1. 品質向上の取組みの重要性

- 1-1 なぜQが一番重要か
- 1-2 品質に関わる社会の仕組み
- 1-3 ますます重要になる品質の確保

2. 設計と品質の関係

- 2-1 品質とは何か？（ISO/狩野モデルなど）
- 2-2 設計の進め方（機能⇒性能⇒詳細仕様）
- 2-3 設計と品質の関係

3. 品質向上の取組みの切り口

- 3-1 品質向上を実現するために
- 3-2 再発防止活動と未然防止活動
- 3-3 設計の仕組み
～品質向上を実現するための5つのポイント～
 - 3-3-1 組織文化
 - 3-3-2 人材
 - 3-3-3 設計資産
 - 3-3-4 設計プロセス
 - 3-3-5 マネジメント

4. 品質問題の再発を防ぐ（再発防止活動）

- 4-1 再発防止活動とは
- 4-2 直接原因と根本原因
 - 4-2-1 直接原因の対策
 - 4-2-2 根本原因の対策
- 4-3 設計ルール作成のポイント
- 4-4 設計者のエラーと人の能力の特徴
（エラーの完全防止は不可能）
- 4-5 エラー防止の考え方（エラープルーフ化）
- 4-6 チェックリスト

5. 品質問題を未然に防ぐ（未然防止活動）

- 5-1 未然防止活動とは
- 5-2 なぜ未然防止活動が必要なのか
- 5-3 問題発見の考え方
- 5-4 デザインレビュー（DR）

- 5-5 品質機能展開（QFD）
- 5-6 FMEA（故障モード・影響解析）
- 5-7 FTA（故障の木解析）
- 5-8 FMEAとFTAの使い分け
- 5-9 リスクアセスメント
- 5-10 試作・評価

6. 生成 AI による品質向上の取組み

- 6-1 生成 AI による品質向上の考え方
- 6-2 生成 AI を使った気づき支援
- 6-3 蓄積した設計資産のフル活用
- 6-4 スプレッドシートを使って生成 AI を設計プロセスに組み込む
- 6-5 コードを使って設計品質向上

<講義概要>

品質には「当たり前品質」「性能品質」「魅力的品質」の3つがあるといわれています。最近では「当たり前品質」を向上させるだけでは差別化が難しいため、「性能品質」や「魅力的品質」の重要性が高まりつつあります。では企業は「当たり前品質」は適当にしておいて、「性能品質」「魅力的品質」を中心に確保すればよいのでしょうか。現実にはそうだとはいえません。なぜなら「当たり前品質」をしっかりと確保しないと、重大な品質問題に発展したり、最悪の場合リコールに至ったりするからです。必要な「当たり前品質」を確保しないと、経営の継続自体が不可能になるのです。ではどうすればよいのでしょうか。できるだけ短い時間で効率よく「当たり前品質」を確保し、「性能品質」「魅力的品質」を生み出す余力を作る。これに尽きると考えます。設計部門全体の業務割合を考えたとき、多くの企業が品質問題の対策にかなり時間を取られているはずですが、それらをできるだけ減らすことにより、競争力を確保しなければなりません。そのためには、設計段階から様々な対策を施す必要があります。

本セミナーでは実際に設計品質向上のための仕組みづくりに奔走してきた講師が、設計段階で「当たり前品質」を確保するための考え方や方法について解説します。経験年数の少ない若手設計者から管理者まで、誰もがわかりやすいと感じるような内容にしています。また、活用の幅が広がっている生成 AI に関して、品質向上の取組みでの活用方法についても様々な事例を使って紹介します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/6/20 設計部門に浸透させたい設計品質の基礎知識		
会社名※			
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		